健診について

受付

検査の目的	健診の受付業務
使用機材及び備品	ナンバリング・日付印・筆記用具・受診票・問診票等の予備
取扱いの注意	・筆記用具だけではなく、受付バックも必ず実施現場に持参する。 ・『受付』の看板を受診者が見やすい位置に掲示する。 （便・喀痰の検査がある場合は、『尿・便・喀痰の容器はここで提出～』の 看板も一緒に掲示する）
始業確認	・ナンバリングが当日実施する最初の番号になっているか （ナンバリングは誤って2回押し・3回押しになっていないか注意する） ・日付印が当日の日付になっているか ・日付印・ナンバリングのインクが濃くなっているか （インクが薄かったり、かすれると機械で読み取れないのでこまめにインクを補充する）
検査の手順・ 記録方法	（1）ナンバリング・日付印を押す。 ・受診票、問診票、心電図記録紙に日付印・ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞを押す。 （2）コースの振分けを行う。 ・あらかじめ印字されている場合は不要。白紙の受診票を使用した 場合、もしくはコースが書かれていない場合のみ行う。 ※健診のコースは各実施により異なるので実施責任者に確認する。 （3）問診票への記入の確認を行う。（混雑時は他の担当で行うこともある） ・受診票の問診部に記入されていない箇所がある場合は、 受診者から聞き取りもしくは記入の依頼をする。 （4）その他問診票へ日付印・ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞを押す。 ・超音波、眼底、胃部ﾚﾝﾄｹﾞﾝの検査がある場合は、それぞれの 問診票に日付印・ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞを押す。 ・受診者が持参してこなかった場合は白紙の問診票を使用し、 必要情報（企業名・名前・年齢等）を記入のうえ、日付印・ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞを押す。 （5）検体を受け取る。（便・喀痰は検査がある場合） ①検尿 ・ピーポールに尿が入っている事を確認して受け取り、ピーポールに 受診番号を記入するとともに、受診票”検尿”欄に押印する。 ・当日採尿する場合は、受診番号を書いたハルンコップを手渡し 採尿したものを受けとったら”検尿”欄に押印する。 ②便 ・便が採取されている事を確認して受け取り、便容器の袋に受診番号を 記入するとともに受診票”便”欄に押印する。 ・何らかの事情で便が採取できていない場合は、検査をする意思の 有無を確認する。 （検査無しの場合） ・受診票の”便”欄に”欠”と記入する。 （検査有りの場合） ・後日便を採取してもらって送付してもらうための封筒を渡す。 ※渡す封筒が無料か有料化を事前に責任者に確認する。 ※封筒に受診日・受診番号・送付期限を記入（実施当日から5日以内の消印有効） ※受診票”便”欄に”送”と記入し、送付者一覧表に記入する。

検査の手順・記録方法	②喀痰 ・喀痰が採取されている事を確認して受け取り、喀痰容器の袋に受診番号を 記入するとともに受診票”喀痰”欄に押印する。 同時に”細胞診検査依頼書”に受診番号を記入し喀痰とともに受け取る。 ・何らかの事情で喀痰が採取できていない場合は、検査をする意思の 有無を確認する。 （検査無しの場合） ・受診票の”喀痰”欄に”欠”と記入する。 （検査有りの場合） ・後日便を採取してもらって送付してもらうための封筒を渡す。 ※封筒に受診日・受診番号・送付期限を記入（実施当日から5日以内の消印有効） ※受診票”喀痰”欄に”送”と記入し、送付者一覧表に記入する。 ※渡す封筒が無料か有料化を事前に責任者に確認する。 ※後日検査の意思の有無にかからわず、当日に喀痰が出されていない場合は、 ”細胞診検査依頼書”を破棄する。 （6）特殊健診がある場合 ・特殊検診受診票の予約項目を確認し、ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ・日付印を押す。（作業条件調査票にも） ・受診者が持参してこなかった場合は白紙の特殊検診受診票を使用し、 必要情報（企業名・名前・年齢・検査項目・雇入れ年月日・業務番号・従事年数等）を記入のうえ、 日付印・ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞを押す。
チェック項目	・受診番号、日付印が全ての受診票、問診票など全ての必要書類に 押されているか確認。 ・有機溶剤など特殊健診がある場合に、個人票も揃っているか確認。
その他留意点	・受診者が検査の追加や欠を希望した場合、またはコースの変更を 申し出た場合は、実施責任者に確認をする。 ・日付印・ナンバリングは枠内に濃く押印する。
トラブル時の対応	・受診番号がだぶってしまった →直ちに実施責任者に報告する。
受診者への対応	・受付は健診の開始部分なので、混雑時でも丁寧な挨拶を心がける。
コース変更時の対応	必ず実施責任者に連絡する。
感染予防対策	・非接触型体温計で体温を測定し、体調確認を徹底してください。 （屋外の場合、気温に左右されるので、その場合は体調確認のみ行う） ＊37.5度以上の熱、もしくは体調不良の受診者には受診を遠慮してもらう。 「健診現場での感染予防のため、体調不良の方のご受診を遠慮頂いております」
混雑時の対応	・混雑状況に応じて、検体（便・喀痰など）受付を増やす。 ・受診番号の必要のない胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝから先に受診してもらう。